

科学者が知っておきたいビジュアルデザインの心得 3

パワポ使いこなし術〈図形その1〉

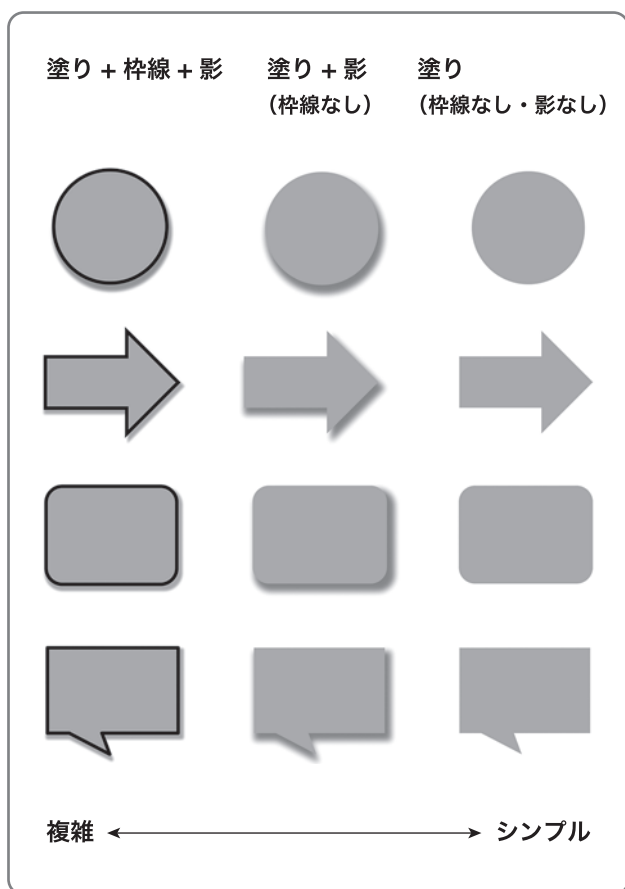
田中佐代子

はじめに

今回はパワポでよく使う基本図形をセンス良く効果的に描くコツや、作業効率が高まるツールについて解説していきます。

図形はシンプルに

パワポのデフォルトでは、枠線や影がついた図形が描けてしまうことが多いようです。しかし枠線や影は図形を複雑にし、見せたい部分が見えにくくなり、結果的に伝わりにくい図になるおそれがあります。そこでいったんこれらは削除することをおすすめします。枠線や影、そしてグラデーションも、ほんとうに必要なだけと考えられる時のみに使用すると効果的です。



矢印のキホン

プレゼン資料のフローチャートなど、最もよく使われる基本図形が矢印ですので、ぜひポイントをおさえてください。

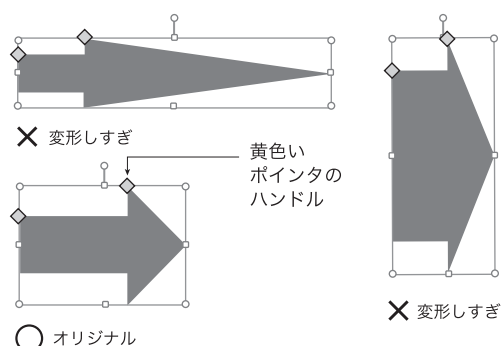
①「ブロック矢印」

「図形」の「ブロック矢印」を選択し、矢印を描きます。



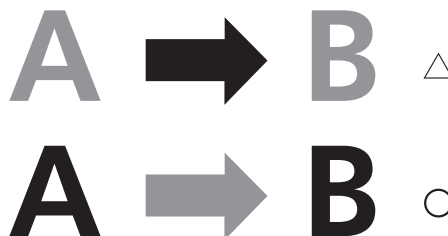
②矢印は極端に変形しない

黄色いポイントのハンドルで変形可能ですが、極端に変形すると、示している方向がわかりづらくなります。



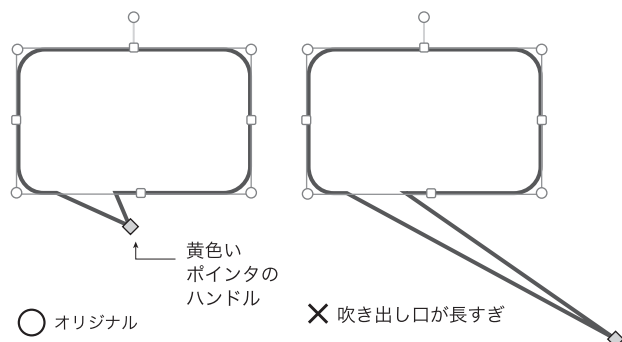
③矢印は目立たせすぎない

矢印の色はグレー等にして、本来目立たせたいものの邪魔をしないようにたほうがよい場合が多いです。



吹き出しのキホン

吹き出しも矢印と同様に、プレゼン資料などでよく使われる図形です。「図形」の「吹き出し」を選択して描きます。黄色いポインタのハンドルで吹き出し口のサイズや方向が変更できますが、極端に長くすると、吹き出し口が目立ちすぎますので注意しましょう。



配置ツールのキホン

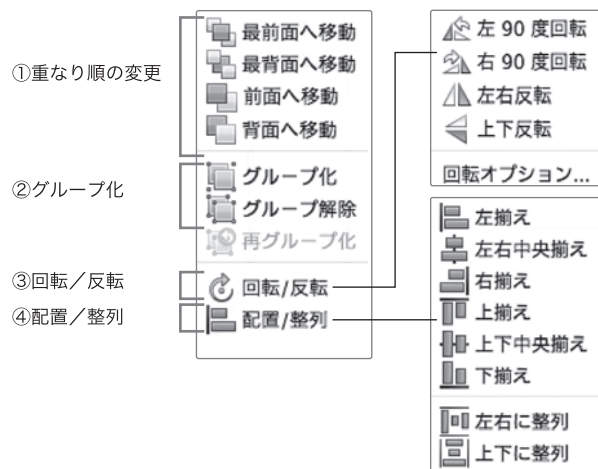
パワポには「重なり順の変更」「グループ化」「回転」「整列」などができるとても便利な「配置」ツールがあります。「配置」ツールを活用できるようになると、サクサク作業がすすみますよ。



PowerPoint for Macintosh 2011

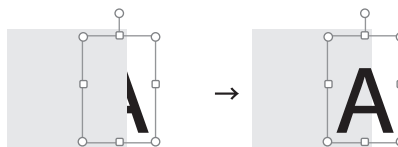


PowerPoint for Windows 2010



①重なり順の変更

図形や文字を選択後、「前面へ移動」を選択すると、それらが前面に移動します。他に「背面へ移動」「最前面へ移動」「最背面へ移動」で、図形や文字の重なり順が変更できます。

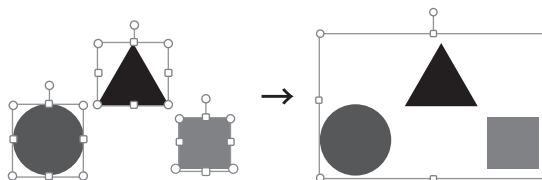


「A」を選択

「前面へ移動」で「A」を前に出しました

②グループ化

複数の図形や文字を選択後、「グループ化」を選択すると、それらがグループ化されます。グループ化された図形は「グループ解除」を選択することができます。

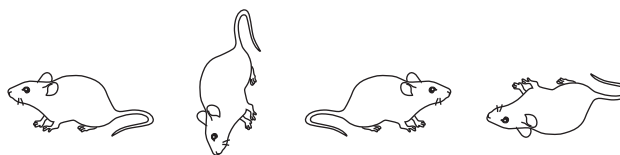


図形を選択

「グループ化」

③回転/反転

図形や文字を選択後、「回転/反転」を選択すると、回転/反転できます。さらに「回転オプション」を選択すれば、1度きざみの回転もできます。



オリジナル

左 90 度回転

左右反転

上下反転

④配置/整列

図形や文字を選択後、「配置/整列」の「左揃え」を選択すると、図形が左側でいっしょに揃います。右、上、下、中央で揃えることもできます。



元

左揃え

元

上揃え

おわりに

今回の内容を習得できれば、センスアップ&作業効率アップできるはずですので、ぜひおためしください。次回はパワポ使いこなし術〈図形その2〉です。パワポで複雑な図形を描くためのコツを解説します。